美 祢 市まち・ひと・しごと創 生 総 合 戦 略

骨子(案)

## 目 次

第1章 美神	袮市人口ビジョン	1
	か市人口ビジョンの概要	
1-1.	趣旨	2
1-2.	人口ビジョンの対象期間	2
	・ひと・しごとに関わる実態の把握	
2-1.	『ひと』に関わる現状整理	3
	『しごと』に関わる現状整理	
	『まち』に関わる現状整理	
2-4.	将来人口推計	20
2-5.	7 (1.1. 1.2. ) (1.1. (1.	
	コの将来展望	
3-1.	将来展望に必要な調査・分析	23
3-2.	目指すべき将来の方向	29
	人口の将来展望	
第2章 美神	袮市まち・ひと・しごと創生総合戦略	31
	☆戦略の概要	
1-1.	総合戦略の策定趣旨	32
1-2.	総合戦略の対象期間	32
	総合戦略の基本的考え方	
	合戦略の基本目標	
	基本的考え方	
	基本目標	
3. 戦略	8の取組内容	34
	展開すべき施策の構築	
	具体的施策	
4. 総合	<b>  戦略の実施に向けて</b>	35
4-1.	進行管理と検証の体制	35
4-2.	PDCA サイクルによる見直し	35
4-3	事業の実現に向けた取り組みの検討	35

# 第1章 美祢市人口ビジョン

## 1. 美祢市人口ビジョンの概要

美祢市人口ビジョン(以下、「人口ビジョン」という。)では、美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という。)において効果的な施策を企画立案する上で基礎となる、人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を整理します。

## 1-1. 趣旨

進行する少子高齢化や人口減少に的確に対応し、東京圏への人口集中の是正と地域で 住みよい環境をつくり、活力ある日本社会を将来にわたって維持していくために、まち・ひ と・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的として、平成26年11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。

国は、この法律に基づき、まち・ひと・しごと創生本部を設置し、平成26年12月に「長期ビジョン」及び「総合戦略」を提示しました。また、市区町村は、国や県のまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めることとされました。

本市においても、人口は減少を続け、総人口に占める年少人口及び生産年齢人口の割合は減少傾向にある一方で、老年人口の割合は増加を続けており、今後も、その傾向は強くなることが想定されています。

こうした背景を踏まえ、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び山口県の「山口県人口ビジョン」を勘案し、本市の実情を踏まえた「人口ビジョン」を取りまとめます。

## 1-2. 人口ビジョンの対象期間

人口ビジョンの対象期間は、平成72年(2060年)までとします。

## 2. まち・ひと・しごとに関わる実態の把握

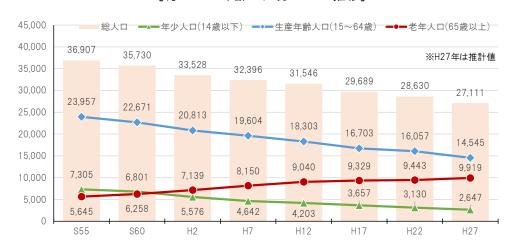
## 2-1. 『ひと』に関わる現状整理

#### 2-1-1. 総人口・世帯

生産年齢人口及び年少人口は減少を続け、老年人口は増加が見られるが、全体として総人口は減少傾向にある。高齢化率は全国・県より高く、高齢世帯(単身・夫婦)も増加が見られる。

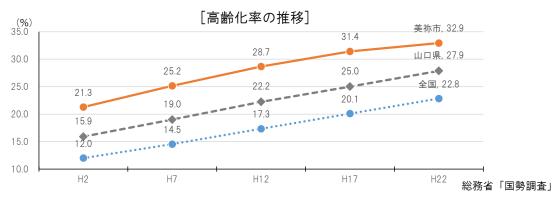
#### ■総人口

#### 「総人口と年齢3区分人口の推移」



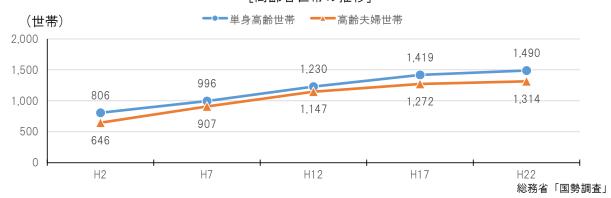
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

#### ■高齢化率



#### ■高齢者世帯

#### 「高齢者世帯の推移]



## 2-1-2. 人口の動き

転出が転入を上回る社会減、死亡が出生を上回る自然減が続いている。 社会減よりも自然減が人口減少に与えている影響が大きい。

#### **■転入・転出**

[転入・転出者数の推移]

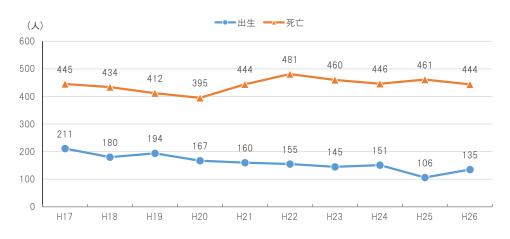


各年1月1日~12月31日の1年間

山口県人口移動統計調査

#### ■出生・死亡

[出生・死亡者数の推移]

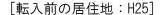


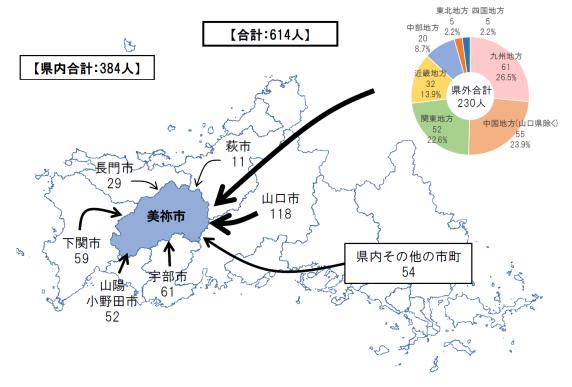
各年1月1日~12月31日の1年間

山口県人口移動統計調査

#### 美祢市に隣接する市との人口移動の数が多く、転出超過となっている。

#### ■転入前の居住地

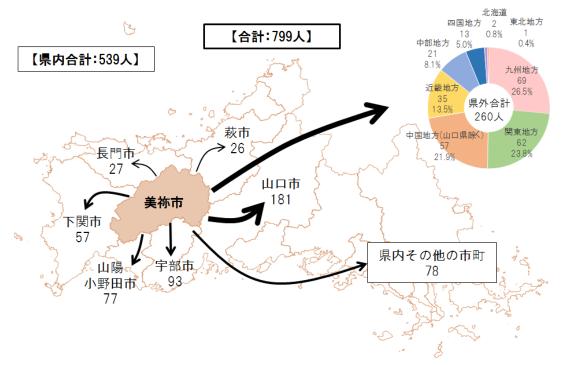




総務省「住民基本台帳人口移動報告」

#### ■転出先の居住地

#### [転出先の居住地:H25]

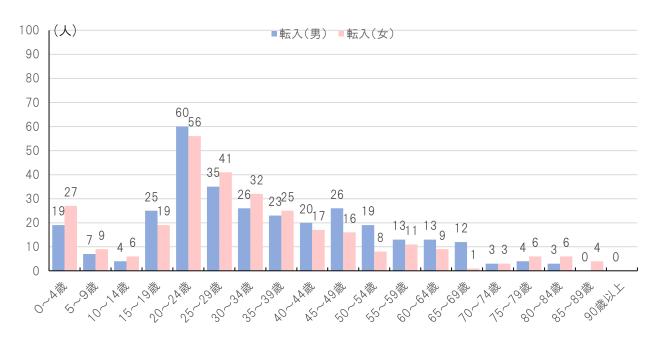


総務省「住民基本台帳人口移動報告」

男女ともに就労・結婚・出産・子育て世代の人口移動が多く、流出が見られる。 特に20~24歳の人口移動が多く、転出超過となっている。

#### ■5歳階級別転入者数

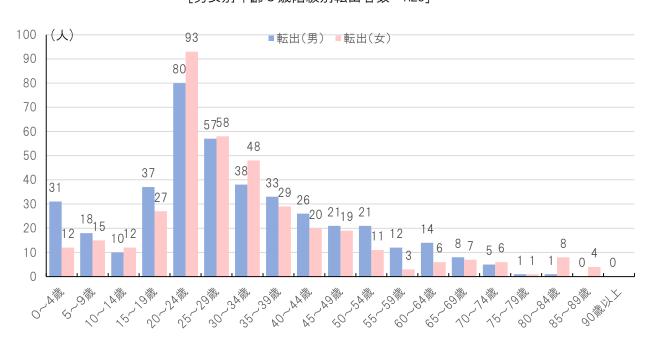
「男女別年齢5歳階級別転入者数:H25]



総務省「住民基本台帳人口移動報告」

#### ■5歳階級別転出者数

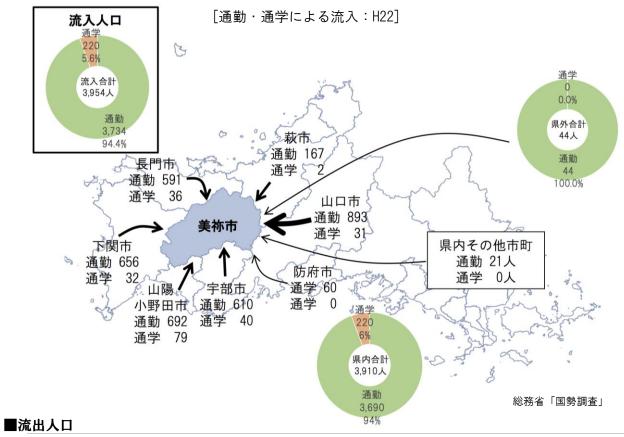
[男女別年齢5歳階級別転出者数:H25]



総務省「住民基本台帳人口移動報告」

通勤者数は、市内への流入が多いが、通学者数は市外への流出が多く、全体では若干の流出超過と なっている。

#### ■流入人口



[通勤・通学による流出:H22] 流出人口 通学 538 13.6% 流出合計 3 3,965人 通勤 3,427 通学 86.4% 26.0% ※従業地・通学地「不詳」を含む。 🤈 県外合計 △ 萩市 77人 通勤 長門市 通勤 99 57 通勤 253 通学 26 74.0% 通学 43 山口市 ※山口県除く 通勤 1,328 「不詳」を除く。 通学 164 美祢市 ▼関市 県内その他市町 通勤 380 通勤 42人 通学 53 防府市 通学 3人 宇部市 通勤 78 山陽 小野田市 通勤 546 通学 9 通勤 583 通学 89 通学 通学 122 509 13.3% 県内合計 3,818人 総務省「国勢調査」 ※「不詳」を除く。

#### 2-1-3. 出生

合計特殊出生率は減少を続け、少子化が進んでいる。 H20~H24 では、国・県よりも低い値となっている。

#### ■合計特殊出生率

#### [合計特殊出生率の推移]



厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計(人口動態統計特殊報告)」

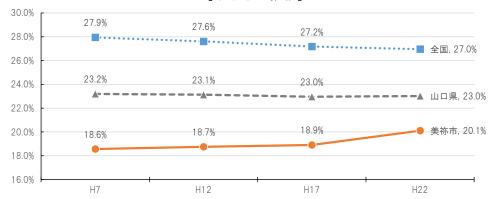
※合計特殊出生率:1人の女性が生涯に何人の子供を産むかを表す数値。15~49歳の女性の年齢別出 生率を合計したもの。

## 2-1-4. 結婚

未婚率は、国や県平均より低い率となっているが、年々増加傾向にあり、平成22年は、人口100人あたり20人が未婚となっている。

#### ■未婚率

#### [未婚率の推移]



総務省「国勢調査」

※未婚率:15歳以上人口に占める未婚者数の割合

## 2-2.『しごと』に関わる現状整理

#### 2-2-1. 就業

男女ともに、就業者数は減少しており、平成 22 年では、生産年齢人口における男性の就業率は 78.0%、女性は 64.5%となっている。

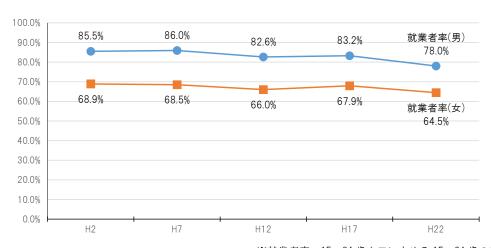
#### ■就業者数

#### [男女就業者数(15歳以上人口)の推移]



※就業者:15歳以上人口のうち、仕事をしている人 総務省「国勢調査」

#### [生産年齢人口(15~64歳)の就業者率の推移]



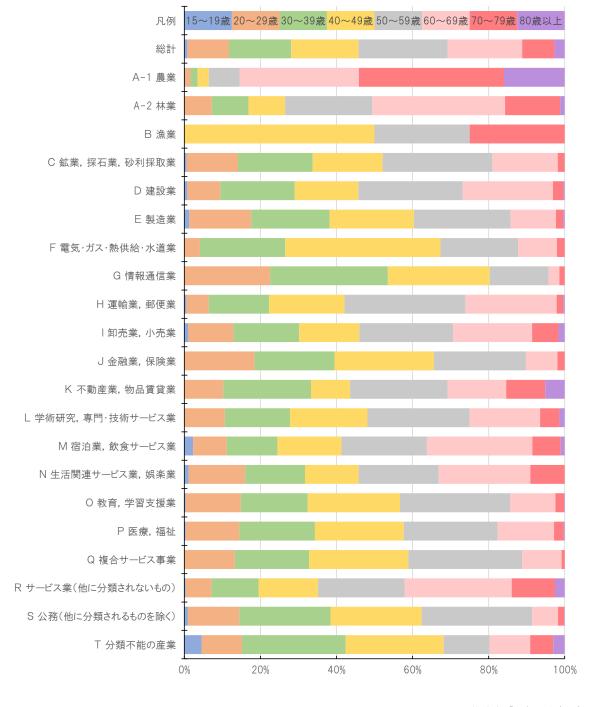
※就業者率:15~64歳人口に占める15~64歳の就業者数の割合総務省「国勢調査」

## 2-2-2. 産業・雇用

美祢市の産業の中で、農業・林業の高齢化が著しく進行している。そのうち、農業は平成 22 年において約 85%が 60 歳以上であり、若者が少なく、後継者不足となっている。 従業員数については、半数以上の業種で減少傾向が見受けられる。

#### ■産業構造(人口)

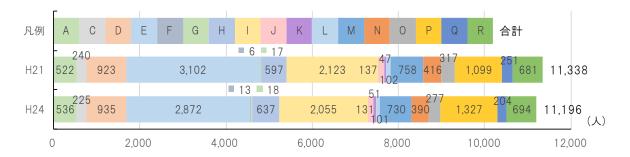
[年齢別・産業別人口:H22]



総務省「国勢調査(H22)」

## ■従業員数

## [従業員数の推移]



<H21 から H24 に従業員数が増えた産業>

J 金融業, 保険業
K 不動産業, 物品賃貸業
L 学術研究, 専門・技術サービス業
M 宿泊業, 飲食サービス業
N 生活関連サービス業,娯楽業
0 教育, 学習支援業
P 医療,福祉
Q 複合サービス事業
R サービス業(他に分類されないもの)

※上表の色つきの産業は、平成21年から平成24年にかけて、従業員数が増えた産業を示す。 総務省「平成21年経済センサスー基礎調査」、総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」

### 2-2-3. 高校生の就業・進学

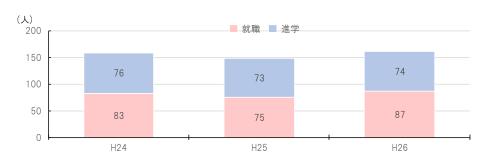
市内の高校の卒業生は、卒業後に就職する生徒が若干多い傾向にある。

市内の高校を卒業後に就職した学生は、市外企業への就職が多いが、近年、市内企業に就職した人数は増えており、地元定着率が増加につながっている。

進学した学生は、3年間の合計では、県内への進学が若干多いが、概ね半数が県外へ進学している。

#### ■市内の高校卒業生の就職・進学

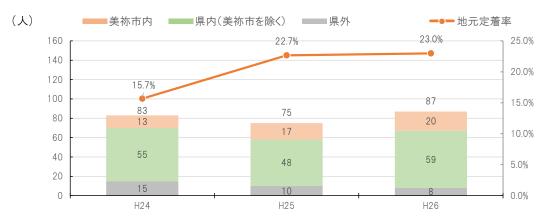
#### [市内の高校卒業生の就職・進学状況]



注:卒業後に就職・進学した人数を集計(市内高校2校の合算) 市内高校の資料

#### ■市内の高校卒業生の就職

#### [市内の高校卒業生の美祢市への就職状況]



注:卒業後に就職した人数を集計(市内高校2校の合算) 市内高校の資料

### ■市内の高校生卒業の進学

#### [市内の高校卒業生の進学状況]



注:卒業後に進学した人数を集計(市内高校2校の合算) 市内高校の資料

## 2-2-4. 美袮社会復帰促進センター

## 美祢社会復帰促進センターでは、700人を超える入所者(センター生)がいる。

## ■入所者(センター生)

## [入所者(センター生)数の推移]



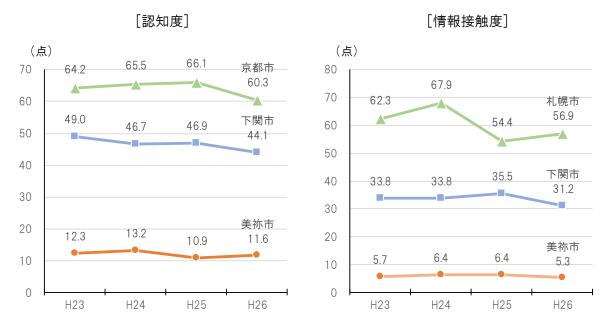
美祢社会復帰促進センター資料

## 2-3. 『まち』に関わる現状整理

#### 2-3-1. 美袮市の認知度

#### 認知度、情報接触度ともに、低い傾向である。

#### ■認知度·情報接触度



※表示している点数は、100点満点中の点数 ※認知度、情報接触度ともに、平成26年で全国トップ、山口県トップの市を表記 株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査ハンドブック」

※認知度:各市町村についてどの程度知っているかの度合い

※情報接触度:過去1年間に美祢市について情報、話題を見たり聞いたりしたことがあるかの度合い

#### 2-3-2. 交流人口

観光客数は概ね横ばい傾向にある。 山口県外からの観光客が多数となっている。

#### ■観光客数

#### [県内外の観光客数の推移]



山口県「観光客動態調査」

秋吉台・秋芳洞は、美祢市への誘客を牽引する資源であり、70万人以上の観光客が来ている。 近年、外国人観光客も急激に増えてきている。

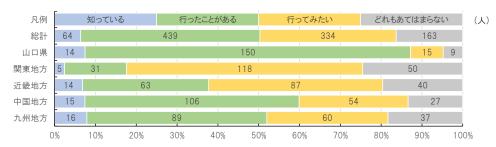
秋吉台・秋芳洞の知名度は、遠くなるほど下がるが、行ってみたいという意向が強い。

#### ■秋吉台·秋芳洞

[秋吉台・秋芳洞の来訪経験(WEB アンケート調査結果:H26)] <秋吉台>

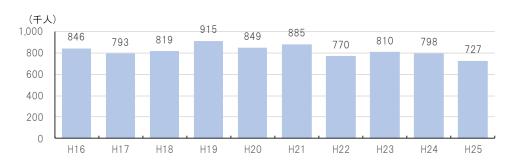


<秋芳洞>



※調査対象:山口県、関東地方、近畿地方、九州地方、中国地方の居住者各 200 名 美祢市「美祢市観光振興計画」

「秋吉台・秋芳洞の観光客数の推移」



山口県「観光客動態調査」

#### 「外国人観光客数の推移」



山口県「観光客動態調査」

#### 2-3-3. 医療•福祉

要介護認定者数は増加傾向となっている。 高齢者向け施設・住まいは、ほぼ定員に近い入居者数となっている。 医師数、看護師数は、山口県平均より低い水準である。

#### ■要介護認定者数

#### [要介護認定者数の推移]



介護保険事業状況報告。ただし、平成 25 年は介護保険事業状況報告月報

※要介護者認定率:要介護認定者数を人口で除したもの

### ■高齢者向け施設・住まい

[市内の高齢者向け施設・住まいの整備状況:H26]

	特別養護 老人ホーム (人)	介護老人 保健施設 (人)	介護療養型 医療施設 (人)	認知症 グループホーム (人)	軽費老人 ホーム (人)	有料老人 ホーム (人)	合計 (人)
定員	352	70	6	54	60	39	581
入所者数	349	64	6	54	60	34	567

美祢市市民福祉部高齢福祉課調べ

#### ■医療施設等

#### [市内の医療の状況]

<i></i>	病院・一般 病床数(床)	医師 看護師	薬剤師 保健師		干人あたり			1万人 あたり			
年	診療所数 (施設)	一般· 療養		(人)	(人)	(人)	医師数     看護師数     薬剤師数       (人)     (人)     (人)	薬剤師数 (人)	保健師数 (人)		
H20	23	547	302	41	218	34	14	1.40	7.42	1.16	4.77
H22	22	547	302	33	221	35	14	1.16	7.78	1.23	4.93
H24	22	547	302	35	231	36	14	1.27	8.40	1.31	5.09
					г		1				

山口県 H24 2.56 10.38 2.21 4.87

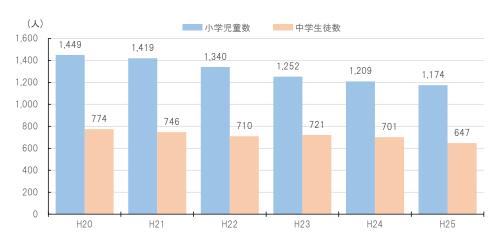
※美祢市 住民基本台帳人口 H20:29,380 人、H22:28,424 人、H24:27,501 人、山口県 住民基本台帳人口 H24:1,430,338 人※医師資格者数及び看護師の統計データは2年毎に公表山口県「山口県統計年鑑」の値から算出

## 2-3-4. 教育

## 少子化に伴い、小学生・中学生が減少している。市内の高校の生徒数も減少傾向にある。

#### ■小学校・中学校

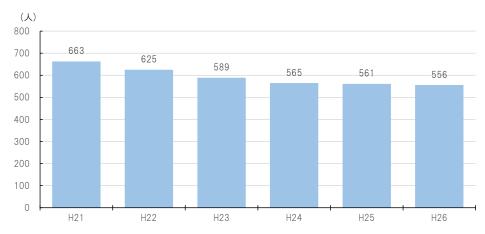
[小学校・中学校の状況]



文部科学省「学校基本調査」

## ■市内の高校の生徒数

#### [市内の高校の生徒数の推移]



文部科学省「学校基本調査」

#### 2-3-5. 防災

山口県は全国でも地震が少なく、美祢市は、約90年間震度3を超える地震は発生していない。 犯罪認知件数は県内でも比較的少ない状況である。

消防団員数が県平均よりも多く、防災への意識が高いと考えられる。

#### ■地震災害

#### [地震発生状況]

#### <県比較>



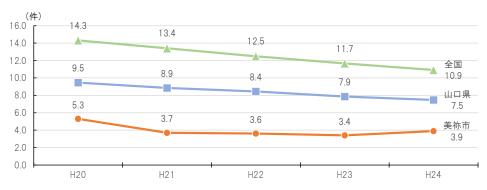
#### <山口県内比較>



※集計期間:1923/1/1~2015/6/23 気象庁「気象庁データベース」

#### ■犯罪

#### 「人口千人当たりの犯罪認知件数の推移]

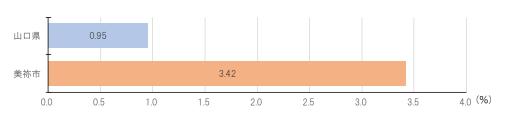


※住民基本台帳人口(各年3月31日現在)

美祢市・山口県:県警察本部刑事企画課、全国:犯罪統計

## ■防災

#### [消防団員数の状況(人口に占める消防団員数の割合)]



美祢市消防本部資料

## 2-3-6. 宅地

## 美祢市では、市営分譲住宅地を販売しており、移住希望者への宅地提供ができる。

## ■市営分譲宅地

[市営分譲宅地の状況]

全区画数	分譲宅地(団地)名	区画数内訳	区画面積
	来福台	329	70~89 坪   90~110 坪
337	長田定住団地	5	101~171 坪
	旦住宅団地	3	81~86 坪

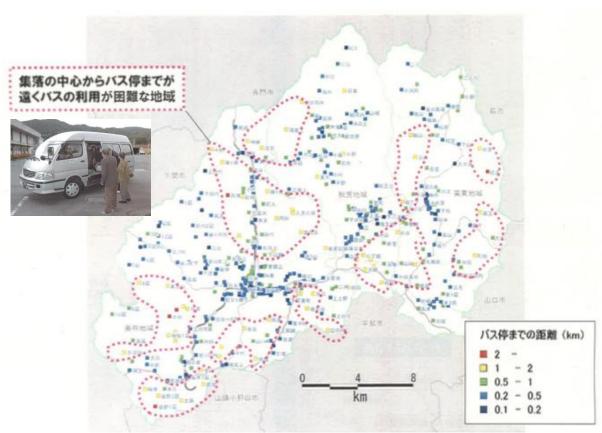
※H27.4月現在 美祢市資料

## 2-3-7. 交通

## バス利用が不便な場所においては、ミニバスにより交通手段を確保している。

#### ■ミニバス

[ミニバスが運行しているエリア]



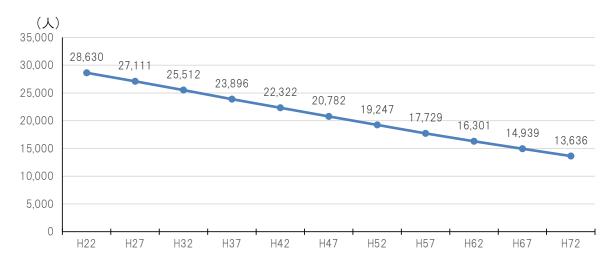
美祢市資料

## 2-4. 将来人口推計

国の将来人口推計のワークシートを用いて、今後、施策を講じず、このままの人口動向が続いた場合の将来人口の推計を行いました(国立社会保障・人口問題研究所推計準拠)。

推計によれば、25 年後の平成 52 年には2万人を下回り、平成 72 年には、13,636 人まで落ち込むと予想されます。

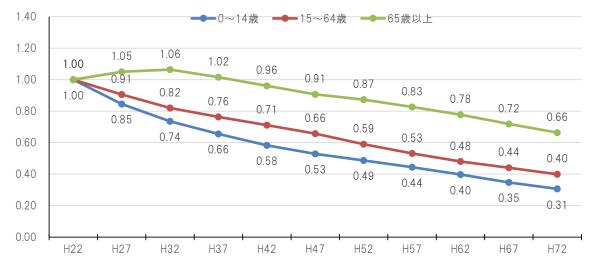
#### [将来人口推計]



国立社会保障・人口問題研究所の推計準拠(国が配布したワークシートによる推計結果)

また、年齢3区分の人口変化を見ると、年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)は減少し続けますが、老年人口は平成32年まで上昇し、その後、減少に転じることが予想されます。

#### 「年齢3区分人口の変化]



国立社会保障・人口問題研究所の推計準拠(国が配布したワークシートによる推計結果)

## 2-5. 人口の変化が本市の将来に及ぼす影響の考察

現在の人口動向で推移した場合の将来人口の見通しに基づき、人口変化が今後の本市の将来に及ぼす影響についての考察を行います。

### 2-5-1. 産業・雇用への影響

#### (1) 人材不足の深刻化による産業活力の低下が懸念される

自然減、社会減が進むと、平成 72 年には、生産年齢人口は、現在の 40%になる推計となっています。労働力人口の減少が進むことで人材不足が深刻化し、企業の廃業や撤退など、産業活力の低下が懸念されます。

#### (2) 担い手不足から、農林業の縮小が懸念される

高齢化率が非常に高い農林業においては、担い手不足から、耕作放棄地の増加や産業の縮小、 鳥獣被害の拡大、治水機能の低下、山林の荒廃等が懸念されます。

#### 2-5-2. まちの魅力への影響

#### (1) 商業サービスの低下が懸念される

総人口の減少により、人口密度が薄まることで、商業サービスの低下(店舗の撤退等)が懸念されます。また、地域の活力、消費購買力の低下により、買い物、医療、といった日常生活に欠かすことができない必要な生活サービスの維持が困難になります。

#### (2) 医療・介護福祉のニーズ増大に対する医療・介護等スタッフの不足が懸念される

平成32年を境に高齢者は減少傾向に転じることが予想されていますが、医療・介護福祉サービスの産業やニーズは、現在よりも拡大する可能性があります。しかし、介護スタッフや医療スタッフの拡充がなされない場合は、十分な受け入れができなくなることが想定されます。

#### (3) 空き地・空き家等の増加と放置による環境悪化が懸念される

人口減少、人口密度の希薄化により、空き地、空き家が増え、放置などによる事故や犯罪発生などが懸念されます。

### 2-5-3. 子育で・教育環境への影響

#### (1) 子育てサービスの低下が懸念される

子どもの数の低下から、今後も、年少人口は減少し続けていくことが考えられます。さらに、若者 (出産、子育て世代)の流出が顕著に見られることから、子育てサービスの低下が懸念されます。

#### (2) 児童・生徒数の減少により十分な教育ができなくなることが懸念される

年少人口の減少に伴い、児童・生徒数の減少が進むと、教員の削減など、教育環境の縮小を余儀なくされる可能性があります。

#### (3) 高齢者は、地域を支える人材として期待できる

定年後のシルバー世代による、地域のボランティアやまちづくりへの参加が増えることにより、地域を支える人材の増加が期待できます。

#### 2-5-4. 生活基盤への影響

#### (1) 要認定者数の増加による医療費の増大や若者への負担が懸念される

平成 32 年まで老年人口の増加が続くことが想定されており、要介護認定者数も増加が見込まれることから、しばらくは医療費が増大し、その後、減少していくものと見込まれます。

また、老年人口が増加する一方で、生産年齢人口が減少していることから、若者一人あたりの税 負担が大きくなることが見込まれます。

#### (2) 市民にとって、生活の不安や利便性の低下が懸念される

人口減少に伴い、路線バスの利用者が減り、運賃の値上げや減便、廃線に追い込まれた場合、 特に、車が運転できない高齢者の生活利便性が損なわれることが懸念されます。

さらに、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯が増加することなどにより、市民の老後の生活・介護に対する不安が生じます。

#### (3) 高齢者が増えることで、社会保障費の増大が懸念される

労働人口減に伴う税収減が懸念され、さらに、高齢者が増加することで、社会保障費等の負担増 が考えられます。

# 3. 人口の将来展望

## 3-1. 将来展望に必要な調査・分析

## 3-1-1. ヒアリング調査

## (1) 高校生の進路希望調査(就職指導担当者ヒアリング)

実施日	平成27年7月3日、8日~9日
学校	2校
ポイント	<ul> <li>● 自宅から仕事場に通いたいという意向がある。そのため、市外からの通学生徒は、美祢市内に残りにくいことが伺える。</li> <li>● 冬の期間が移動にネックであるため、自宅から通勤可能な就職先を選ぶ傾向がある。</li> <li>● 就職には、親の意向や考え方も大きい。</li> <li>● 工業系学科では、美祢市、宇部市、山陽小野田市への就職が多い傾向にある。</li> <li>● 普通学科は進学が主である。一方、就職希望者は公務員や事務職を希望する生徒が多い。</li> <li>● 進学する生徒の割合が増加している。</li> <li>● 県外への就職は少数である。</li> <li>● 男子生徒は、製造業への就職希望者が多いが、市内の求人が少ない。</li> <li>● 女子生徒は、接客、サービス業を希望する生徒が多い。</li> <li>● 全体での求人数は増えているが、市内の求人は増えていない。</li> </ul>

## (2) 企業ヒアリング

実施日	平成27年7月3日、8日~9日
企業数	24 社
業種	製造業、官公庁、宿泊業、運送業、建設業、観光業、社会福祉・介護事業、医療、採石業・土石製品製造業、複合サービス事業
ポイント	〈有資格者の不足、労働力の不足〉
	[正社員の過不足] 不明、無回答、3, 13% 過剰、0,0% でや過剰、1、 n=24 でや不足、8, 33% 適正、6、 n=24 でや不足、8, 33% 適正、7、 29% である。 25% でも不足、8, 33% でもできました。 25% でもできました。 12% できました。

- 保育士、給食調理員は応募がなく、足りない状況。
- 介護職を目指す若者が減少しており、新卒の応募がない。担い手が少な い。介護職の資格を保有する人材からの応募も少ない。
- 病院の精神科では、新卒の応募はまずいない。
- 医師・看護師の応募は少なく、不足している。また、看護助手、介護福 祉士、薬剤師も不足している。
- 建設業において、職員が不足している。正社員以外でも現場の労働力が 不足しており、下請け先もない。
- 正社員は不足しており、応募も少なくなってきている。中途採用の応募 も少ない企業もある。

#### 〈子育て環境の充実〉

- 妊娠・出産者からは、子どもを預けられる施設の充実が要望として多く 挙げられている。
- 女性が働きやすい環境づくりに努めている企業が多い。

#### 〈就業環境〉

● 社員の居住場所は、会社に近いほうがよい(近隣市町含む)。寮があると 良いとの意向を示した企業もある。

### 3-1-2. 既存調査の分析

既存調査を整理し、一般的な傾向・意向を把握します。

#### (3) 『美祢市総合計画後期基本計画』の策定に向けた市民アンケート調査結果

## ■市政に対して期待すること

「医療・福祉の充実」「産業の活性化」「効率的な行財政」「観光の振興」に加え、~20代、30 代、高齢層では、「ひとの育成・つながり」、壮年層では「防犯・防災」の回答が多い。

#### ~20代 (n=64)

順	順位		件数	%	
1	医療・福祉の充実	3	42	65.6%	
2	産業の活性化	1	15	23.4%	
3	観光の振興	2	13	20.3%	
3	ひとの育成・つながり	3	13	20.3%	
3	効率的な行財政	4	13	20.3%	

壮年層 (n=465)

順位		分類	件数	%	
1	医療・福祉の充実	3	319	68.6%	
2	産業の活性化	1	216	46.5%	
3	効率的な行財政	4	117	25.2%	
4	観光の振興	2	100	21.5%	
5	防犯·防災	4	84	18.1%	
		•			

<sup>30</sup>代 (n=95)

順位		分類	件数	%	
1	医療・福祉の充実	3	66	69.5%	
2	産業の活性化	1	38	40.0%	
3	効率的な行財政	4	25	26.3%	
4	観光の振興	2	24	25.3%	
5	ひとの育成・つながり	3	21	22.1%	

#### 高齢層 (n=592)

順	順位		件数	%
1	医療・福祉の充実	3	404	68.2%
2	産業の活性化	1	161	27.2%
3	効率的な行財政	4	141	23.8%
4	ひとの育成・つながり	3	129	21.8%
5	観光の振興	2	104	17.6%

<国の基本目標の分類>

分類①:「地方における安定した雇用を創出する」に関連する項目

分類②:「地方への新しいひとの流れをつくる」に関連する項目 分類②:「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に関連する項目 分類④:「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に関連する項目

#### ■特に力を入れるべき取り組み

#### いずれの年齢層も、医療や福祉、子育てに関する施策が上位に位置している。

#### ~20代 (n=64)

順		分類	件数	%
1	02.高齢者保健福祉の充実	4	22	34.4%
2	01.保健や医療サービスの充実	3	20	31.3%
3	10.公共交通の充実	2	17	26.6%
3	34.子育て支援の充実	3	17	26.6%
5	27.市内雇用の拡大や労働者の福利厚生	1	14	21.9%
5	20.観光の振興	(2)	14	21.9%

#### ~30代 (n=95)

順	位	分類	件数	%
1	01.保健や医療サービスの充実	3	55	57.9%
2	34.子育て支援の充実	3	31	32.6%
3	02.高齢者保健福祉の充実	4	27	28.4%
4	27.市内雇用の拡大や労働者の福利厚生	1	23	24.2%
4	10.公共交通の充実	2	23	24.2%

#### 壮年層(n=465)

Ī	分類	件数	%
01.保健や医療サービスの充実	3	210	45.2%
02.高齢者保健福祉の充実	4	143	30.8%
27.市内雇用の拡大や労働者の福利厚生	1	117	25.2%
34.子育て支援の充実	3	89	19.1%
10.公共交通の充実	2	84	18.1%
	01.保健や医療サービスの充実 02.高齢者保健福祉の充実 27.市内雇用の拡大や労働者の福利厚生 34.子育て支援の充実	01.保健や医療サービスの充実       ③         02.高齢者保健福祉の充実       ④         27.市内雇用の拡大や労働者の福利厚生       ①         34.子育て支援の充実       ③	01.保健や医療サービスの充実       ③       210         02.高齢者保健福祉の充実       ④       143         27.市内雇用の拡大や労働者の福利厚生       ①       117         34.子育て支援の充実       ③       89

#### 高齢層(n=592)

順	位	分類	件数	%			
1	01.保健や医療サービスの充実	3	157	26.5%			
2	02.高齢者保健福祉の充実	4	148	25.0%			
3	05.社会保障の充実	4	98	16.6%			
4	10.公共交通の充実	2	89	15.0%			
5	43.市職員の能力の向上	4	84	14.2%			

#### <国の基本目標の分類>

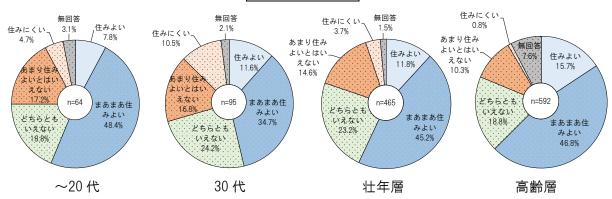
分類①:「地方における安定した雇用を創出する」に関連する項目

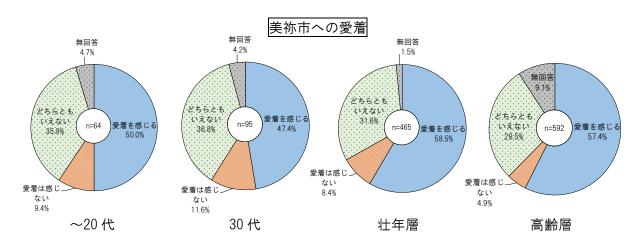
分類②:「地方への新しいひとの流れをつくる」に関連する項目 分類②:「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に関連する項目 分類③:「苦い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に関連する項目 分類④:「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に関連する項目

#### ■住み良さ、愛着、今後の居住意向

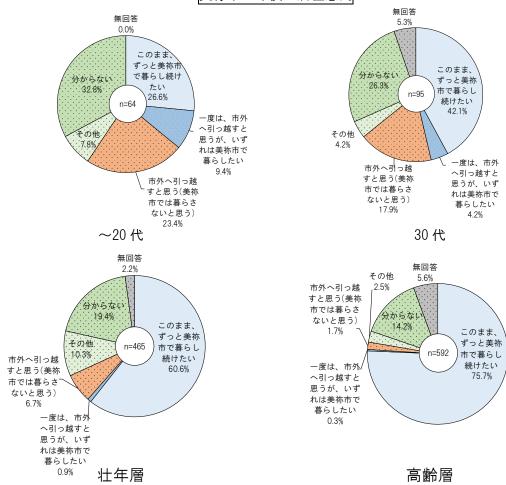
高齢層が最も美祢市は住み良いと感じており、30代が最も住みよいとはいえないと感じている。 また同様に、壮年層が最も美祢市に愛着を感じており、30代が、最も愛着を感じていない。居 住意向では、年齢層が高いほど、美祢市で暮らし続けたいとする意向が強い。

### 美祢市の住み良さ





## 美祢市の今後の居住意向



#### ■将来の不安

~20 代では「仕事や雇用のこと」、30 代と壮年層では「少子高齢化による地域の衰退」、高齢 層では「自分や家族の健康」を強く感じている。

#### ~20代(n=64)

位	分類	件数	%
仕事や雇用のこと	1	26	40.6%
少子高齢化による地域の衰退	4	22	34.4%
自分や家族の健康	3	14	21.9%
経済的負担	1	13	20.3%
自分や家族の介護	4	10	15.6%
	仕事や雇用のこと 少子高齢化による地域の衰退 自分や家族の健康 経済的負担	仕事や雇用のこと       ①         少子高齢化による地域の衰退       ④         自分や家族の健康       ③         経済的負担       ①	仕事や雇用のこと     ①     26       少子高齢化による地域の衰退     ④     22       自分や家族の健康     ③     14       経済的負担     ①     13

#### 壮年層 (n=465)

順	位	分類	件数	%
1	少子高齢化による地域の衰退	4	191	41.4%
2	自分や家族の健康	3	143	30.8%
3	自分や家族の介護	4	130	28.0%
4	子どもの将来のこと	3	84	18.1%
5	経済的負担	1	82	17.6%

## 30代 (n=95)

順	位	分類	件数	%
1	少子高齢化による地域の衰退	4	27	28.4%
2	子どもの将来のこと	3	26	27.4%
3	経済的負担	1	25	26.3%
4	自分や家族の介護	4	23	24.2%
5	自分や家族の健康	3	22	23.2%

#### 高齢層 (n=592)

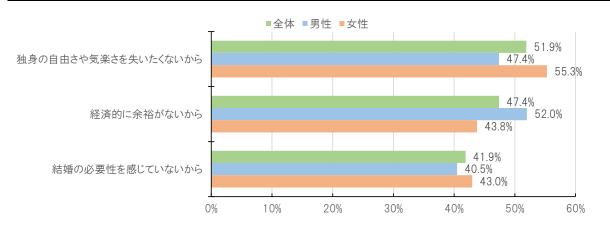
順	位	分類	件数	%
1	自分や家族の健康	3	250	42.2%
2	少子高齢化による地域の衰退	4	207	35.0%
3	自分や家族の介護	4	186	31.4%
4	老後の生きがい	1	83	14.0%
5	経済的負担	1	69	11.7%

<国の基本目標の分類>

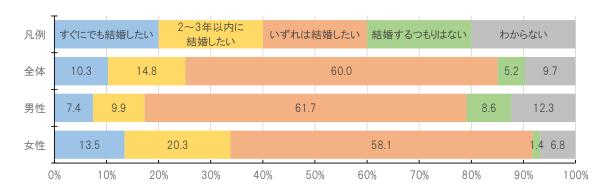
<国の基本日保の分類/ 分類①:「地方における安定した雇用を創出する」に関連する項目 分類②:「地方への新しいひとの流れをつくる」に関連する項目 分類③:「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に関連する項目 分類④:「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に関連する項目

#### (4) 平成 25 年度「家族と地域における子育でに関する意識調査」(平成 26 年 3 月 内閣府)

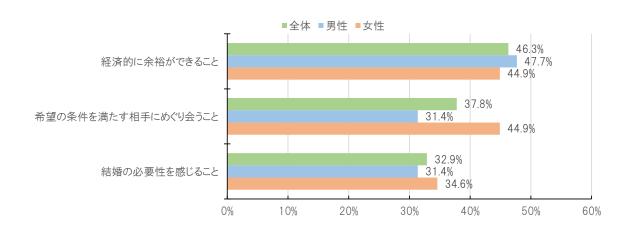
## ■未婚・晩婚が増えている理由 (上位3位)



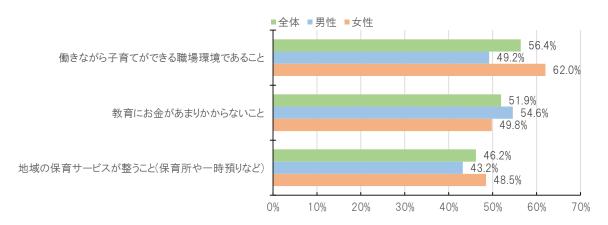
#### ■将来の結婚意向 (20~39 歳未婚者)



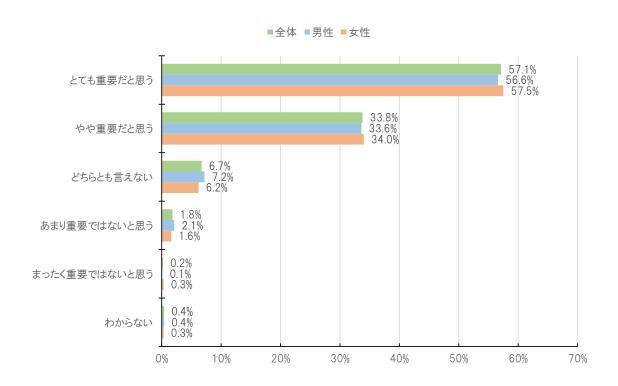
#### ■結婚を決心する状況(上位3位)



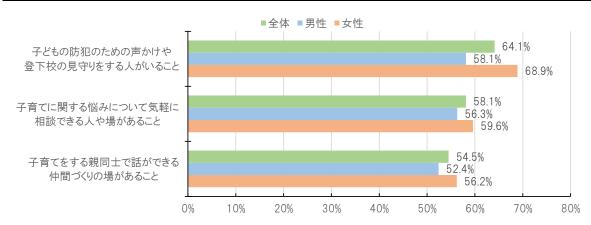
#### ■子どもを持つ場合の条件(上位3位)



## ■子育てにとって地域の支えの重要性



### ■地域で子育てを支えるために重要なこと(上位3位)



## 3-2. 目指すべき将来の方向

#### 3-2-1. 美袮市の人口減少対策に関するポイント

"まち・ひと・しごとに関わる実態の把握"、"人口の変化が本市の将来に及ぼす影響の考察"、"将来展望に必要な調査・分析"を踏まえ、美祢市の人口減少対策に関する事項を整理します。

分野	美祢市の人口減少対策に関するポイント
ひと	<ul> <li>◆社会復帰促進センターのセンター生の将来の希望として、介護職への就労希望者がいる。また、美祢市内での就労希望者も存在する。</li> <li>●高齢者の社会参加が増えることで、地域社会を支える人材の増加が期待できる。</li> <li>●高齢化が進む一方で、生産年齢人口の減少により、高齢者を支えるための若者の一人当たりの負担が増える可能性がある。</li> <li>●自然減が、人口減少に大きな影響を与えている。</li> <li>●20~24歳の若者の流出が非常に多い。</li> <li>●合計特殊出生率が低く、少子化が進んでいる。</li> <li>●未婚率は上昇傾向にあり、H25では、人口100人あたり20人が未婚である。</li> </ul>
しごと	<ul><li>●通勤を見ると、美祢市への流入が多い。</li><li>●企業では、女性が働きやすい環境づくりに努めている。</li><li>●市内高校生の地元定着率が2割程度となっている。また、市内の求人が増えていない。</li><li>●介護や医療において、従事者が不足している。</li></ul>
まち	<ul> <li>●3つの IC や道路網の整備により、周辺市や九州圏、広島県へのアクセスが良い。</li> <li>●優良な分譲住宅地が供給されている。</li> <li>●日本最大級の秋吉台・秋芳洞が観光を牽引している。</li> <li>●外国人観光客の伸びが大きい。</li> <li>●全国で比べて、地震は少ない。</li> <li>●美祢市の認知度が低い。</li> <li>●児童と生徒が減少している。</li> <li>●人口減少により人口密度が薄まることで、都市機能(商業機能、子育て機能など)の低下が懸念される。</li> <li>●高齢者向け施設・住まいは、ほぼ定員に近い人数が入居している。</li> </ul>

## 3-2-2. 人口減少対策の方向性

上記のポイントや美祢市の現状を踏まえて、人口減少対策の方向性を設定します。

方向性1:多様な資源、人材を生かして、共に働ける仕事をつくる

方向性2:美祢市を知って、来て、住んでもらう流れをつくる

方向性3:結婚・出産・子育ての途切れのないサポートと、地域に根付く次世代を育てる

方向性4:住み心地の良いまちをつくる

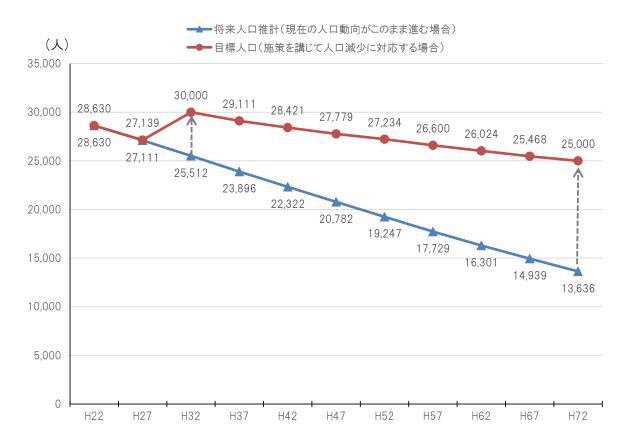
## 3-3. 人口の将来展望

"目指すべき将来の方向"を踏まえた施策の効果を見込み、県の計画を勘案した自然増減や社会増減 に関する仮定を置いて、本市の将来人口を展望します。

施策を講じず、現在の人口動向が続いた場合、「将来人口推計」のように推移します。

この推計を基準に、人口減少対策の施策を講じ、平成32年に30,000人(第一次美祢市総合計画基本 構想に示す目標人口)、平成72年に25,000人とする「目標人口」を目指した場合、人口は以下のような 動向となります。

#### [目標人口]



[参考:合計特殊出生率の設定値]

	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72
将来人口推計の設定出生率	1.31	1.28	1.26	1.26	1.27	1.27	1.27	1.27	1.27	1.27
目標人口の設定出生率	1.36	1.54	1.72	1.90	1.99	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

第2章 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 1. 総合戦略の概要

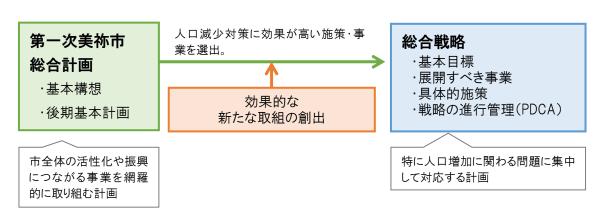
## 1-1. 総合戦略の策定趣旨

#### (1) 趣旨

"第1章 美祢市人口ビジョン"に示すように、本市では、深刻な人口減少社会となっています。こうした、本市が抱える人口減少問題に対応するため、「第一次美祢市総合計画後期基本計画(以下、「後期基本計画」という。)」に掲げる政策・施策を活用し、かつ、人口減少対策に効果・実行性のある取組を総合的に進める計画として策定します。

#### (2) 総合戦略の位置づけ

総合戦略は、後期基本計画をベースに、活用しつつ、人口減少対策に効果的な事業を実施する計画です。



## 1-2. 総合戦略の対象期間

総合戦略は平成27年度から平成31年度までの5年間とします。

## 1-3. 総合戦略の基本的考え方

人口ビジョンで設定する"人口減少対策の方向性"を踏まえて、出生率の向上と、転出を抑え、転入を促すため、人口ビジョンで示した「平成 72 年の人口を確保する」ために、取り組むべき施策・事業を位置づけます。

- ✓ 人口ビジョンの将来展望を実現するために人口増が期待できる取組効果の高い事業を選別し、重点 的に実施する。
- ✓ 施策·事業の位置づけに際しては、施策対象(ターゲット)を絞込み、事業効果の見込みを明らかにするなど、戦略性をもった取組として実施する。
- ✓ 総合戦略に位置づける施策・事業は、計画的な実施と進行管理を行うことを基本として、市の財政等の見込みとも整合を取りながら実効性の高い現実的な取組として実施する。

## 2. 総合戦略の基本目標

総合戦略を進めるにあたっての基本的考え方を掲げ、人口ビジョンを踏まえ、4つの基本目標とそれぞれの数値目標を設定します。

## 2-1. 基本的考え方

## 市民・事業者・行政が共に考え、共に生きる

総合戦略は、本市が主体的に進めていくこととなりますが、市だけでは、人口減少を食い止めることはできません。

市民の皆さんの日常生活の営みから「しごと」が生まれ、「ひと」が育ち、「まち」がつくられており、市民の皆さんの力によって、本市が成り立っています。

そのため、今後、本市がより一層発展していくためには、市民・事業者・行政が共に考え、共に生きていこうとする動きが非常に大切となります。

この考え方のもと、総合戦略を実現させていきます。

## 2-2. 基本目標

### 基本目標1:美祢市の資源を活用した「雇用をつくる」

目標値	指標	現状値	目標値
(案)	○○を○○%増加	00%	●●%
( <del>*</del> )			

様式、以下省略

#### 基本目標2:惹きつける魅力を活かした美祢市への「ひとの流れづくり」

基本目標3:美祢市で結婚・出産・子育ての希望がかなう「次世代の育成」

基本目標4:美祢市にずっと住みたくなる「まちの基盤づくり」

## 3. 戦略の取組内容

## 3-1. 展開すべき施策の構築

総合戦略の計画期間は5年間と短いため、人口減少対策に特に効果的な施策を構築することが重要であることから、総合戦略の核となる「展開すべき施策」を設定します。

展開すべき施策は、人口ビジョンで定めた「人口減少対策の方向性」に応じて、美祢市が取り組むべき 重要な施策として位置づけます。

そのため、人口減少対策に効果のある事業を実施することとします。

## 3-2. 具体的施策

## 基本目標1:美祢市の資源を活用した「雇用をつくる」

## 展開すべき施策1-1:

,,	- 40714 1		
		展開すべき施策の説明	

具体的施策名	〇〇の推進		
内容	・・・・を推進する。		
<b>香西</b> 类结	名称	現状値	KPI
重要業績評価指標	○○の向上	00%	□□%
山川岡川山			
主要事業	◆ ○○事業		

様式、以下省略

#### 基本目標2:惹きつける魅力を活かした美祢市への「ひとの流れづくり」

基本目標3:美祢市で結婚・出産・子育ての希望がかなう「次世代の育成」

基本目標4:美袮市にずっと住みたくなる「まちの基盤づくり」

## 4. 総合戦略の実施に向けて

## 4-1. 進行管理と検証の体制

毎年度、定期的に重要業績評価指標の達成状況を評価した上で、国・県の対策や取り組みも勘案し、 所要の見直しと改定を実施します。

実施にあたっては、市議会、産業界、関係行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア、市民から選出された委員で構成する『美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会』において、総合戦略策定後の変更、事業効果の検証等を行います。

## 4-2. PDCA サイクルによる見直し

総合戦略は、人口減少対策に向け、施策・事業を確実に実施し、効果を出していくことが求められます。 そのため、計画策定(Plan)、推進(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクルに基づき、よりよい方向 に進めることが重要です。

また、基本目標の数値目標、施策に定めている KPI(重要業績評価指標)により、具体的施策が目指す目標を明確化し、PDCA を行います。

PDCA により確認された内容に基づき、必要に応じて、具体的施策等を見直します。

## 4-3. 事業の実現に向けた取り組みの検討

総合戦略の実現にあたっては、予算の確保が重要となります。そのため、国や山口県の支援制度、ふるさと納税の活用やクラウドファンディング、市民ファイナンス等の検討を行い、事業の確実な実施を図ります。